

— 社会貢献活動事例集 —

埼玉経済同友会
社会貢献委員会

(株)日さく

「防災井戸」設置で地域防災に貢献

当社は、わが国初のエンジン付きロータリー式掘削機を導入したさく井（井戸掘削）工事会社として、創業以来100年以上にわたり、全国各地における豊富な地下水開発の実績を積み上げてきました。

現在は、さく井設備、特殊土木、地質調査の3部門を主軸とし、伝統的技術と最新の独自技術により、調査・設計から施工、維持管理までのワンストップサービスを行うことで、「水と大地の総合エンジニアリング企業」として顧客の信頼を得ています。

また、これまで世界40カ国以上で、5,000本を超える井戸掘削を行ってきました。特に1989年以降はアフリカ諸国を中心に、無償資金協力によるODA地下水給水施設工事に携わってきました。

当社の経営理念は、伝統的な技術と最新の技術で我が国のみならずグローバルな展開を図り、幸福な社会づくりに貢献していくことです。当社は、経営理念に基づき、以下を行動指針として掲げ、取り組んでいます。

『地域社会との交流を深め地域に貢献していきます。地元の方々と深いつながりを持ち続け、地域活動に積極的に関わることにより、地域社会の発展に寄与していきます。』

また、社員が“純粋な心を持ち、心を磨き、人間性を高める”ことで、社会に価値をもたらす企業として、創業150年、200年に向けて存続していけると考えています。そのため、社員が自由闊達に考え、行動できる職場環境づくりに努めています。社会貢献活動においても、社員の自発性を大切にしています。

◆取組事例

- 事例名 本社敷地内に「防災井戸」設置
- 内容 「防災井戸」設置は、当社地質調査本部勤務の女性社員の提案によるものです。提案理由は、さく井工事が間近で見られ社員の勉強になり、災害時には地域住民の方々にも使用していただくことにより地域貢献にもつながる、というものでした。これが社内提案制度で評価され、採用となりました。

本社（さいたま市大宮区）敷地内の駐車場に設置することとなり、2018年7月に着工し8月に完成しました。井戸口径は15cm、深さは30mで、電動ポンプと

手押しポンプがつけ替え可能となっています。

● 効 果 ①災害への備え

昨年（2018年）は自然災害の多い年だったといわれ、その教訓により「備え」への意識が高まってきていると思います。災害時は断水の可能性があります、防災井戸があれば地域を挙げてトイレや掃除などの水を確保することができます。

②当社の思いと自治会のニーズの合致

当社本社は、地域社会とのつながりを持ち地域活動へ積極的に関わることを目的として、期せずして「防災井戸」が完成した2018年8月に地元自治会へ入会しました。偶然にも、自治会において「防災井戸」の整備を検討しているところであり、当社の思いと自治会のニーズが合致する形となりました。

③防災訓練でのお披露目

地元自治会の要望により、2018年11月3日に開催された自治会の防災訓練において、当社の「防災井戸」を見学していただくことになりました。実際に手押しポンプを動かして水を出したり、熱心に質問をされたり、「防災井戸」を通して交流を深めることができました。また、この様子は地元自治会発行の「防災訓練報告」にも掲載され、地域住民の方々の安心の向上に、微力ながら貢献できたと感じています。

● 展 望

当社は、他にも「地域清掃活動」、「社員と企業によるマッチング募金」、「エコキャップ回収運動」などの社会貢献活動に取り組んでいますが、「防災井戸」設置は、特に当社の“本業”と“社員力”を活かした取り組みだと考えています。

SDGsには「安全な水とトイレをみんなに」という目標があります。100年以上にわたり地下水開発に携わってきた企業としての使命を抱き、これからも当社の強みを生かした社会貢献活動を推進していきます。



当社女性技術者と「防災井戸」



2018年11月3日に開催された地元自治会の防災訓練における「防災井戸」見学の様子